

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が未だ収束しない中、姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)の開館2年目を迎えた。事業実施にあたっては、前年度に引き続き収容人数や内容について慎重に検討し感染症対策を行った。施設管理においても、利用者と協働して感染症対策を行い、経費節減を図りながら適切な運営に努めた。

その結果、アクリエひめじオープニングシリーズとして実施した大型の舞台芸術公演をはじめ、芸術監督の下制作したオリジナル企画や他館との連携による舞台芸術公演を、姫路から全国に向けて発信することができた。また、姫路市ジュニアオーケストラ、キャスパシアタープロジェクトを始めとする市民参加型の公演事業や、ワークショップ、講座等により、市民がプロフェッショナルな世界に触れて豊かな感性を育むことができる芸術文化活動の場を提供した。

姫路市書写の里・美術工芸館においても、学芸業務や工芸教室などの普及・育成事業を実施し、幅広い世代に向け、郷土の工芸に根付く生活文化の再発見や感性を育む機会を提供した。

国際交流事業においては、感染症拡大が未だ収束しない状況下での生徒の渡航や相互交流による安全確保が困難なことから、青少年姉妹都市交流を3年連続で全面中止することとなったため、若い世代の交流機会確保に配慮しながら、海外姉妹都市の若者との交流体験をはじめ、市民に開かれた講座やイベント等の実施を通して、アフターコロナの国際都市ひめじの環境醸成に取り組んだ。同時に、在住外国人の生活支援のため、ウェブサイトや各種SNSを通じた適時性ある情報発信の強化と、相談窓口業務の充実に努めた。

その他にも、感染症の拡大により委縮した市民による芸術文化活動、国際交流活動に対する支援の充実と協力体制の強化を図ると共に、幅広い視野を持って文化芸術・国際交流分野の振興に寄与すべく、観光、まちづくり、教育その他関連分野と連携し事業を実施した。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

公益目的事業1(略=[公1]) 音楽・演劇等の公演事業

公益目的事業2(略=[公2]) 文化振興のための育成普及事業

公益目的事業3(略=[公3]) 博物館の企画展示事業

公益目的事業4(略=[公4]) 文化施設の貸与及び管理運営事業

公益目的事業5(略=[公5]) 国際交流事業

収益事業1 (略=[収1]) 管理運営施設等の物品販売事業

収益事業2 (略=[収2]) 文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業

その他事業1 (略=[他1]) その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

1 アクリエひめじオープニングシリーズ

播磨地域の文化交流拠点として開館した姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)のオープンを記念してハイレベルな大型公演事業を実施し、新しい文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点の誕生をプロモーションするとともに、新施設のイメージアップを図った。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	キャスパシアタープロジェクト～U-25 が挑戦する、新しい演劇のカタチ～ 「音楽劇 かがみの孤城」 〔公1〕	R4.4.2(土) ～4.3(日) 【3回】	アクリエひめじ 中ホール	令和元年度まで実施していた「高校生による演劇公演」の後継企画として、令和2年度から新たに立ち上げたプロジェクト。 若い世代の人たちが文化に触れるきっかけや成長できる機会を創り、世界を広げていく場所とした。 【参加者】26人 【入場者】①320人 ②264人 ③290人 (キャパ50%)
2	HimeFes2022 森口博子× BEYOOOOONDS with パシフィックフィルハーモニア東京 〔公1〕	R4.8.29(月) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	国民的アニソン歌手・森口博子、令和デビューで武道館ライブ即完売の実績を誇るアイドルグループ・BYOOOOONDS、パシフィックフィルハーモニア東京による生演奏で盛大な音楽フェスを実施。 【出演者】森口博子、BEYOOOOONDS(歌)、藤原いくろう(指揮)、パシフィックフィルハーモニア東京(演奏) 【入場者】1,051人
3	Sing with the Orchestra 2022 ～ミュージカル・セレクション～ 〔公1〕	R4.10.17(月) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	日本センチュリー交響楽団とミュージカル俳優との夢のコラボレーションが実現。日本を代表するアーティストたちが、生演奏にこだわり、一夜限りの特別なサウンドを届けた。 【出演者】中川晃教、木下晴香、島田歌穂、福井晶一(歌)、三ツ橋敬子(指揮)、日本センチュリー交響楽団(演奏) 【入場者】249人
4	池辺晋一郎 Presents 大河を聴く！物語が甦る！ 歴代テーマ曲スペシャルコンサート 〔公1〕	R4.11.16(水) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	作曲家・池辺晋一郎が手掛けた作品や、姫路城のヒロイン「千姫」にまつわる作品等、日曜日の夜テレビから流れてきた大河ドラマのテーマ曲をオーケストラの生演奏で届けた。 【出演者】池辺晋一郎、檀ふみ(司会)、飯森範親(指揮)、Legendary Orchestra for Senhime(管弦楽) 【入場者】770人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
5	古武道コンサート 〔公1〕	R4.12.23(金) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	異なるジャンルで活躍している3人のトップアーティストが、伝統と感性を大切にしながら、様々な音楽のルーツを取り入れ、新しいインストゥルメンタルの世界を創造。 【出演者】藤原道山(尺八)、古川展生(チェロ)、妹尾武(ピアノ) 【入場者】151人
6	野村萬斎×杉本博司 狂言公演「あのあたり このあたり」 〔公1〕	R4.12.25(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	狂言師・野村萬斎出演、現代美術作家・杉本博司氏の構成・美術による狂言公演「あのあたり このあたり」を上演した。 【入場者】874人
7	小曾根真 featuring No Name Horses THE BEST 〔公1〕	R5.2.11(土・祝) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	小曾根真率いる総勢15名のビッグ・バンド・No Name Horses の全国ツアー姫路公演。今回はBEST ともいえる作品ばかりをセレクトしたパワフルなステージを実施。 【入場者】620人
8	反田恭平プロデュース Japan National Orchestra2022 ツアー 〔公1〕	R5.2.22(水) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	日程変更のため、中止及び延期
9	YAMATO meets Classics 宮川泰×羽田健太郎 二人の宇宙戦艦ヤマトコンサート 〔公1〕	R5.3.12(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	世界的に人気を集める日本のアニメの代表作「宇宙戦艦ヤマト」。当時音楽を担当した宮川泰と羽田健太郎が手掛けた2つのシンフォニック作品を、コンサートで宮川泰の子息である宮川彬良の指揮により演奏した。 【出演者】宮川彬良(指揮)、篠崎史紀(ヴァイオリン)、宮川知子(ピアノ)、林美智子(スキャット)、日本センチュリー交響楽団(管弦楽) 【入場者】1,451人

2 音楽のまち・ひめじ

姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第25回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	R4.5.5(木・祝) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	地元アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を行う。 【出演者】メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部他 計10団体 【入場者】1,600人
2	懐かしの洋楽ヒットパレード (第20、21、22回) 〔公1〕	R4.5.26(木) R4.9.29(木) R5.2.12(日) 【年間3回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源によるCDコンサートを実施。 【入場者】①188人 ②206人 ③231人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
3	播磨国吹奏楽団演奏会 〔公1〕	R4.5.29(日) 【2回】	アクリエひめじ 中ホール	地元・関西を中心に活動している若手のプロ演奏家を集結させた「播磨国吹奏楽団」によるコンサートを実施。(楽器講習会は、コロナ感染症対策のため中止。) 【出演者】 甘粕宏和(指揮)、播磨国吹奏楽団(演奏) 【入場者】510人(①316人②194人)
4	姫路市ジュニアオーケストラ 第1回定期演奏会 〔公1〕	R4.7.3(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	小学生4年生から25歳までの約40人の「姫路市ジュニアオーケストラ」団員が、2020年8月結成時より、約2年間の練習やプレ公演を経て、第1回目の定期演奏会を実施。 【出演者】山下一史(指揮)、三浦章宏(ヴァイオリン)、姫路市ジュニアオーケストラ(管弦楽) 【入場者】451人
5	池辺晋一郎芸術監督シリーズ 「音楽をのぞいてみよう」 第3回 バッハ 第4回 ベートーヴェン 〔公1〕	R4.7.18(月・祝) R4.12.3(土) 【2回】	パルナソス ホール	池辺芸術監督企画による、作曲家を題材に音楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備えた演奏会を実施。 ●第3回 【出演者】池辺晋一郎(お話)、渡辺紗蘭(ヴァイオリン)、北垣彩(チェロ)、長田真実(オルガン・チェンバロ・ピアノ) 【入場者】381人(キャパ50%) ●第4回 【出演者】池辺晋一郎(お話)、池内響(バリトン)、沖本みなみ(ヴァイオリン)、金未卯(ピアノ) 【入場者】333人(キャパ50%)
6	0歳からの！オルガンクリスマスコンサート 「オルガンとめくる絵本」 〔公1〕	R4.12.11(日) 【1回】	パルナソス ホール	パイプオルガンの演奏で普段入場が難しい0歳のお子様から音楽に親しめる、パルナソスホール独自企画のクリスマス演奏会を実施。 【出演者】長田真実(オルガン)、小嶋真介(お話) 【入場者】450人(キャパ50%)

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
7	パルナソス 朝のハーモニー 〔公1〕	年 間 【6回】 R4.6.11(土) R4.7.9(土) R4.8.13(土) R4.9.10(土) R4.12.10(土) R5.1.14(土)	パルナソス ホール	原則第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。出演者は「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図った。 【出演者】 6/11:北垣彩(チェロ)、今田篤(ピアノ) 7/9:清水奏花(オルガン) 8/13:菅田真弓、塚本芙美香(ピアノ) 9/10:遠藤優美(ピアノ) 12/10:Clef de sol(宮本美代、山本亮太、水尾文子、中山恭仁(サクソフォン)) 1/14:森麻祐子(ヴァイオリン)、井上莉那(ピアノ) 【入場者】延べ1,280人(キャパ50%)

[パルナソス育成普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第25回 姫路パルナソス音楽コンクール 第25回 姫路パルナソス音楽コンクール受賞者演奏会 〔公1〕	R4.5.14(土) 予選 R4.5.15(日) 本選 【2回】 R4.10.23(日) 【1回】	パルナソス ホール パルナソス ホール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、姫路地域における音楽活動の支援を目的とするコンクールを実施。 【部門】声楽部門、管楽器部門 【審査員】池辺晋一郎(作曲)、柏木敦子(声楽)、林裕美子(声楽)、本田耕一(管楽器)、木村寛仁(管楽器)、藪田翔一(作曲) 【受賞者】第1位:吉原未来(声楽部門) 第2位:熊木夕菜(声楽部門) 第3位:谷萌香(管楽器部門) 【予選出場者】13人 【本選出場者】7人 【入場者】86人(キャパ50%) コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽団メンバーによる演奏会を実施。 【出演者】吉原未来(メゾソプラノ)、谷萌香(サクソフォン)、日本センチュリー交響楽団弦楽アンサンブル 【入場者】94人(キャパ50%)
2	第22回上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」 〔公2〕	R4.7.28(木) ～7.31(日) 【4回】	パルナソス ホール	ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスンを実施。技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。 【講師】上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授) 【実技受講者】延べ33人【聴講者】延べ100人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
3	バロック in 姫路 〔公1〕	R4.11.27(日) 【1回】	パルナソス ホール	大塚直哉(チェンバロ講座講師)とフラウト・トラヴェルソ奏者として古楽器オーケストラ「ラ・プティット・バンド」と共演する世界的に古楽をリードしてきたベルギーの名匠バルトルド・クイケン他による演奏会を実施。 【出演者】バルトルド・クイケン(フラウト・トラヴェルソ)、佐藤泉(バロック・ヴァイオリン)、福澤宏(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、大塚直哉(チェンバロ) 【入場者】362人(キャパ50%)
4	合唱シリーズVol. 3 千原英喜の世界 〔公1〕	R5.3.25(土) 【1回】	パルナソス ホール	合唱界で注目されている邦人作曲家を取り上げる“合唱シリーズ”の第3弾。市民公募からオーディションを経て選出された合唱団メンバーが約8か月の合唱練習を経て発表する、パルナソスホール独自企画の演奏会を実施。 【出演者】千原英喜(作曲・指揮)、林裕美子(ソプラノ)、坂本恵子・横谷静美(ピアノ)、長田真実(オルガン)、千原英喜の世界合唱団 【入場者】298人(キャパ50%)

[パルナソス楽器普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業	通 年	パルナソス ホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(3クラス)、1日体験)」オルガン紹介イベント」「オルガンコンサート」等を実施。 ●オルガン講座 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) ・通年コース 【受講生】A:6人、B:3人、C:6人、D:5人、E:5人 延べ25人 ・受講者発表会(3/21) 【入場者】105人 ・1日体験(6/26、9/10、2/12 各 A・B クラス) 【受講者】延べ36人 【観覧者】延べ30人 ●オルガンシリーズ 【出演者】 Vol.11:山口綾規(オルガン)、江田雅子(ソプラノ) Vol.12:パク・ジュンホ(オルガン) Vol.13:近藤岳(オルガン)、中嶋俊晴(カウンターテナー) 【入場者】延べ405人(キャパ50%) ●ホールオルガニストが贈る オルガン・アワー 【出演者】長田真実(オルガン) 【入場者】198人(キャパ50%)
	オルガンシリーズ Vol.11 山口綾規&江田雅子 デュオリサイタル	R4.4.10(日)		
	オルガンシリーズ Vol.12 パク・ジュンホ オルガンリサイタル	R4.9.25(日)		
	オルガンシリーズ Vol.13 近藤岳×中嶋俊晴 ジョイントコンサート	R5.1.29(日)		
	ホールオルガニストが贈る オルガン・アワー 〔公2〕	R4.11.5(土) 【各1回】		

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
2	チェンバロ講座 [公2]	通年	パルナソス ホール	<p>チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(講師=湯浅宣子)を実施。</p> <p>【受講者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日体験(5/21、8/11、1/9) 受講生:延べ26人(観覧=延べ18名) ・入門コース(通年):11人 ・初級コース(通年):11人 ・課題曲ワークショップ(通年):延べ54人(聴講生:延べ14人) ・調律ワークショップ:延べ19人(聴講延べ16人) ・上級コース(通年):2人 ・ダンス講習会(6/11、8/20、1/15 クラス 1・2・3):延べ69人 ・受講者発表会(3/11) <p>【入場者】77人</p>
3	はじめてのフルート教室 [公2]	通年	パルナソス ホール	<p>楽器を通して音楽に触れる機会の提供を目的として、初めてフルートを演奏する方を対象にした教室を実施。村松フルート製作所の協力による。</p> <p>【受講者】3期生8名、1・2期生17名</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受講者発表会(3/26) <p>【入場者】95人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夏休み!はじめてのフルート体験(8/26) <p>【受講者】延べ19人(聴講延べ13人)</p>
4	アウトリーチ事業 [公2]	通年	市内小学校	<p>小学生への音楽教育の一環として、楽器の音を生で聴くことにより、子供の情操教育の充実をめざし、感性を豊かに育むために実施し、地域文化の向上も図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ポジティブオルガンのワークショップ」 <p>パルナソスホールのオルガンをより身近に感じられるように移動可能な楽器(ポジティブオルガン)を活用し実施。</p> <p>【講師】長田真実(ホールオルガニスト)</p> <p>【実施校】前之庄小学校(10/19)、余部小学校(11/14)、八木小学校(11/17)、網干西小学校(12/1)</p> <p>【参加者】延べ862人</p>

〔交響詩ひめじ普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第33回「交響詩ひめじ」合唱コンクール	R5.2.5(日)	パルナソスホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクールを実施。 【部門】小・中学生部門、高校・一般部門 【審査員】池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、矢田正一(兵庫県合唱連盟副理事長)、林裕美子(声楽家) 【最優秀賞】福崎町立福崎西中学校合唱部、兵庫県立姫路西高等学校音楽部 with 兵庫県立姫路東高等学校音楽部 【優秀賞】兵庫県立加古川西高等学校コーラス部、合唱団「響」 【池辺晋一郎特別賞】兵庫県立姫路南高等学校コーラス部 【入場者】250人(キャパ50%)
	「交響詩ひめじ」公開合唱ワークショップ 〔公2〕	R4.12.4(日) 【各1回】	パルナソスホール	池辺晋一郎による公開合唱ワークショップを実施。 【出演】池辺晋一郎(お話・合唱指導) 【受講者】35人(キャパ50%)
2	「交響詩ひめじ」演奏会 〔公2〕	R5.3.5(日) 【1回】	パルナソスホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクール受賞団体と、吹奏楽団によるジョイントコンサートを実施。 【出演者】池辺晋一郎(お話)、西谷亮(指揮)、交響詩ひめじ合唱コンクール受賞5団体、姫路市吹奏楽団・播磨国吹奏楽団(演奏) 【入場者】371人(キャパ50%)

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕 〔公2〕

市内各地で多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業についてホームページで発信し、音楽の力で姫路を元気にする事業を実施した。

【まちかどコンサート】

9/23 兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部演奏会(会場:姫路駅北にぎわい広場)雨天中止

【交響詩ひめじまちかどコンサート】

2/23 姫路市吹奏楽団演奏会(会場:イオンモール姫路リバーシティ)【観覧者】約200人

【社会包摂事業】

11/13 ドラムサークル in 姫路(会場:イーグレひめじあいめっせホール)【参加者】16人

11/9 0歳からのリトミック(会場:アクリエひめじスタジオ1)【参加者】34組(親子・2回公演)

12/2 0歳からのリトミック(会場:アクリエひめじスタジオ1)【参加者】47組(親子・2回公演)

【ふらっとお散歩コンサート】

10/30 会場:姫路文学館、淳心学院心城館、姫路駅北にぎわい広場【観覧者】約443人

〔姫路市ジュニアオーケストラ〕

〔公2〕

芸術監督池辺晋一郎の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成することを目的として、令和2年8月に「姫路市ジュニアオーケストラ」を創設。芸術監督池辺晋一郎（作曲家）、団長清元秀泰（姫路市長）、アドバイザー三浦章宏（ヴァイオリン、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター）の指導のもと日々研鑽を積み、アクリエひめじでの定期演奏会を始め、地域のコミュニティセンター等に出向いて行うミニコンサートなどにも挑戦し、地域の中で文化交流の輪が広まる活動を行った。

【出演】 8/19 Himeji SDGs EXPO 2022（主催：姫路商工会議所）

8/27 第27回星空ファミリーコンサート（主催：公益財団法人日本センチュリー交響楽団）

11/19 あいめっせフェスティバル 2022（主催：姫路市／あいめっせ登録団体連絡会）

11/19 兵庫県 PTA 中央大会（主催：兵庫県 PTA 協議会）

2/12 ステラ・ケ・ブリラ（主催：国際ゾンタ SEN 姫路ゾンタクラブ）

〔ル・ポン国際音楽祭（姫路国際音楽祭）実行委員会事務局関連業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力の世界に向けて発信することを目的として開催した。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。

【公演】①10/2（日）、②10/3（月）赤穂化成ハーモニーホール

③10/5（水）、④10/6（木）姫路城二の丸特設会場

⑤10/8（土）書写山圓教寺特設会場

⑥10/9（日）アクリエひめじ大ホール

【入場者】①1,029人 ②1,048人 ③498人 ④470人 ⑤504人 ⑥1,834人

3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施した。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	おなかをすかせた真夜中のファンタジー「キッチン」 〔公1〕	R4.8.15（月） ～8.16（火） 【公演1回】 【ワークショップ1回】	キャスパホール	兵庫県西宮市、豊岡市、長野県上田市との4館連携プログラム。イタリアの音楽家らによる公演に加え、音やリズムの楽しさ、ダンスの面白さを体感できるワークショップを開催。一般財団法人地域創造助成事業。 【入場者】161人 【ワークショップ参加者】24人
2	第50回 姫路落語会 〔公1〕	R4.8.20（土） 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	アクリエひめじでの初公演。今回50回目を迎える、桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。 【出演・演目（出演順）】 桂 弥っこ 「田楽喰い」 桂 吉の丞 「犬の目」 桂 南天 「いきだおれ」 桂 南光 「ちりとてちん」 桂 ざこば 「上爛屋」 桂 米團治 「猫の忠信」 【入場者】624人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
3	第28回 キャспа能	R4.8.21(日) 【1回】	キャспаホール	歌舞伎や人形浄瑠璃文楽と共にユネスコ無形文化遺産として世界に誇る日本の代表的な古典芸能である能楽の舞台を、江崎家をはじめとする地元在住の能楽師の担い手である姫路能楽会と協力して実施した。 【演目】 解説 能「小督」(こごう) 仕舞「白楽天」「井筒」「鶺鴒鴉之段」 【入場者】171名
	能さいしょの一步その20	R4.8.21(日) 【1回】	キャспаホール	「キャспа能」当日に、能楽の魅力を解説する無料の初心者向け講座を開催した。 【入場者】47名
	【事前講座】 キャспа能をちょいかじり！ ～第28回キャспа能『小督』を10倍楽しむための7つのポイント！～ [公1]	R4.8.17(水) 【1回】	アクリエひめじ メインスタジオ	販売促進のため、事前講座を開催した。 【入場者】64名
4	いいむろなおきマイムカンパニー 「かえるの？王子さま」 [公1]	R4.9. 10(土) ①11:00 ②14:30 【2回】	キャспаホール	パントマイムのあの手この手をたっぷりつめこんだスピード感あふれる無言劇。劇場全体を幻想的な世界へとつくりあげ、子どもたちの好奇心をくすぐる舞台を開催した。 【入場者】①218名 ②188名
5	第31回 こころの祭 姫路 [公2]	R4.11.11(金) 【1日】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催しを実施した。 【実施協力者】20件 【入場者】延べ1,424人
6	第31回 キャспа寄席 [公1]	R4.11.19(土) 【1回】	キャспаホール	開館当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。演目は、会場の雰囲気により決定。 【出演・演目(出演順)】 桂 米輝 「動物園」 桂 鯛蔵 「軽業講釈」 桂 米左 「七段目」 桂 まん我 「かぜうどん」 桂 千朝 「一文笛」 【入場者】172人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
7	キャスパワーショップシリーズ「演劇のいろんなカタチ」 〔公2〕	①R5.1.28(土) ②R5.3.18(土)、 3.19(日)、 3.21(祝)、 3.25(土) ③R5.3.26(日) 【3回】	①キャスパホール ②オンライン (Zoom) ③姫路市市民 会館音楽教室	①パントマイム②リーディング③ミュージカルの3つのワークショップを、対象年齢を変えて実施。演劇の『楽しさ』を体験でき、その後の体験や鑑賞に繋がる内容を目指した。 【講師】①いいむろなおき ②笹部博司 ③鈴木あゆこ 【参加者】①16人 ②17人 ③13人
8	第45回 姫路市芸術文化賞授賞 〔公2〕	R5.3.24(金) 【1回】	アクリエひめじ 小ホール	姫路市芸術文化賞授賞式を実施した。 【受賞者】6名 【入場者】80人
9	文化事業連絡会 〔他1〕	年間 【2回】	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画した。
10	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケット販売業務を行った。

4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公2〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。季刊各2, 800部

- ① 124号(夏号) 特集:「播磨の「怪異」
- ② 125号(秋号) 特集:「聖徳太子と播磨」
- ③ 126号(冬号) 特集:「姫路城世界遺産登録30年」
- ④ 127号(春号) 特集:「西国街道を歩く 姫路から船坂峠へ」

5 「文化情報姫路」の制作 〔公2〕

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開した。令和3年5月号から、ウェブサイトを通じたデジタルデータでの提供を行った。

6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 〔公2〕

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図った。

- (1) 文化活動助成 応募:42件 交付:35件(辞退3件、中止1件)
- (2) 後援名義 使用許可:127件(内訳:音楽81件、美術13件、映画鑑賞11件、伝統芸能9件、国際交流4件、舞踊3件、文学、舞台、その他2件)

7 播磨学研究助成 〔他1〕

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

8 女流王位戦助成 〔他1〕

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致するため、市民を対象とした大盤解説に助成し、市民文化の向上と姫路市のPRに努めた。

【開催日】4月26日(火)

【開催場所】姫路キャスパホール(大盤解説)

【対局者】●里美香奈(女流王位) — ○西山朋佳(女流二冠)

【入場者】60人

9 第76回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、民謡、演劇、茶華道など各分野で活躍する郷土の約186団体、約4,448人の参加を得て16の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらった文化の祭典となった。

【開催日】10月28日(金)～11月27日(日)

【開催場所】アクリエひめじ、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館

10 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行った。授賞式は、令和5年3月24日(金)に開催された第45回姫路市芸術文化賞授賞式で行った。

(1) 選考委員会 1月19日(木)、1月31日(火)

(2) 選考結果

芸術文化大賞：小坂通泰(剪画)

芸術文化賞：玉岡かおる(文芸)、出口隆一(郷土史)

芸術文化奨励賞：鏡谷明夫(合唱指導)、新福かな(邦楽)、出口郁子(陶芸)

11 姫路地方文化国際交流団体名簿発行(改訂版) [公2]

改訂版を発行し、文化団体、国際交流団体の活動情報収集、および連携を図った。

【名称】令和5年版姫路地方文化国際交流団体名簿

【発行】令和5年3月

【掲載件数】432件

12 姫路市書写の里・美術工芸館学芸普及事業

姫路市書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室等の学芸普及事業を実施した。

(1) 展覧会 [公3]

NO	展覧会名	会期	内容
1	【春季特別展】 姉妹都市提携50周年 鳥取の美術工芸と民藝	R4.4.16(土) ～6.12(日) 50日間	1616年に第3代姫路藩主となった池田光政が、翌年に鳥取藩主となるなど、両市は歴史的に関わりが深く、姉妹都市提携(昭和47年(1972年)3月8日)を締結している。令和4年に姉妹都市提携50周年を迎えることを記念し、鳥取市の美術工芸や歴史資料、県下の民藝、郷土玩具など90点を展示紹介した。 【入場者】3,720人
2	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 青森県の諸玩具	R4.4.20(水) ～8.18(木) 103日間	金魚ねぶた、八戸の八幡馬、弘前の土鈴など77点を展示した。 【入場者】8,524人
3	【夏季特別展】 日本陶芸美術協会 姫 路展～第9回陶美展作 品を中心にして	R4.6.18(土) ～8.28(日) 62日間	全国各地で活躍する陶芸家が集結して平成24年(2012年)に設立された「日本陶芸美術協会」による公募展。重要無形文化財保持者(人間国宝)6名を含む、会員69名の作品及び、公募審査による入選作など75点を集め、優れた陶芸作品を一堂に会した。 【入場者】5,334人 ※会期前日の6月17日(金)より観覧できるようにした。日数と入館者は、会期前日より計上
4	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 神奈川県諸玩具	R4.8.20(土) ～12.15(木) 99日間	伊勢原の大山こま、鶴岡八幡宮や円覚寺の土鈴など143点を展示した。 【入場者】16,498人

NO	展覧会名	会期	内容
5	【特別展】 2022年播磨工芸美術展	R4.9.3(土) ～10.23(日) 44日間	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作33点を展示。併せて工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品を展示する公募部門への応募56点から、7点の入賞を含む27点の入選作品を展示し、新人工芸作家の育成・発掘を図った。 【入場者】3,324人
6	【所蔵品展Ⅰ】 清水公照すみ・いろ・つち	R4.9.3(土) ～10.23(日) 44日間	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照(1911-1999)は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの名品63点で公照の造形に親しんだ。 【入場者】3,324人
7	【秋季特別展】 はしもとみお木彫(きぼり)展～カタチの生まれるところ	R4.10.28(金) ～12.24(土) 48日間	兵庫県出身のはしもとみお(1980-)は、動物彫刻作家として活躍している。素材の木に新たな命が吹き込まれ、犬や猫などのさまざまな動物の木彫り作品が生み出される。本展では「いきものたち」をテーマに、作品751点(木彫作品546点、デッサン191点、絵本原画14点)を紹介した。 【入場者】14,422人
8	【企画展】 はりこ絵付けコンクール展	R4.12.10(土) ～12.24(土) 13日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。7人が入賞し40人41点の応募作品を展示した。 【審査員】松尾哲(姫路はりこ職人) 【入場者】3,692人
9	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 宮崎県の諸玩具	R4.12.17(土) ～R5.4.6(木) 83日間	佐土原のうずら車、延岡の昇り猿、鶴戸神宮や青島神社の土鈴など91点を展示した。 【入場者】7,429人
10	【新春特別展】 播磨に息づく匠の技	R5.1.6(金) ～3.5(日) 50日間	姫路を中心とした播磨地域では、古くから木を用いて優れた工芸品が数多く作られてきた。5回目となる本展は播磨地域に縁のある伝統工芸作家6名の作品42点を展示し、伝統的な技に裏打ちされた木工芸や漆芸の匠の技に迫った。 【入場者】3,169人
11	【所蔵品展Ⅱ】 清水公照の世界	R5.1.6(金) ～4.9(日) 79日間	昭和50年に奈良東大寺別当(住職)に就任した清水公照は、各地の窯元・工房を訪ね全国の工芸作家と親交を深めた。そこで収集したコレクションは多数に及ぶ。代表的なコレクションを館蔵品から96点展示し、併せてその交友の足跡を辿った。 【入場者】5,439人
12	【企画展】 播磨の工芸品名選展 -新収蔵品を中心に春を寿ぐ	R5.3.18(土) ～4.9(日) 19日間	昨年度の新収蔵品である水引幕や染め型紙をはじめ、春の文様作品をテーマにした41点の館蔵品で陶芸、染織、木工、革工芸などの播磨地域の工芸品の魅力を味わう機会を設けた。 【入場者】1,440人

NO	展覧会名	会期	内容
13	私のいっぴんギャラリー	通年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを最長2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示した。 【応募者】15人 【入場者】32,859人

※会期の日数は休館日を除く。 ※令和4年度の入館者数32,859人 開館日数298日

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- ① 書写山新緑まつりイベント 5月8日(日)陶芸教室 【参加者】24人
- ② 開館記念日(28年)イベント 7月3日(日)茶会 【参加者】70人
- ③ 秋季の観光促進イベント 11月5日(土)・6日(日)秋の文化祭
【出演者】12組(各日6組) 【参加者】700人
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月19日(土)押し花で作ろう!オリジナルコースター
【参加者】19人

また、陶芸、染織、革工芸、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。【参加者】236人(展覧会付帯教室を除く)

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施した。

【実演】姫路はりこ、姫路こま、姫山人形等の製作

【実演日】土曜日、日曜日、祝日(一部不定期) 【実施日数】延べ243日

(4) 展覧会の付帯事業として図録等関連商品の販売を行った。 [収1]

II 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施した。

1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供した。2回実施。

- ・クイズで学ぶ台日文化の違い 6月12日(日) 【参加者】17人
- ・Brazilian Cultural Day 10月22日(土) 【参加者】11人

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供した。24回実施。

【参加者】1,013人

また、多文化共生マネージャーの資格を持つ財団職員が講師となって、多文化共生講座を2か所で実施した。【参加者】106人

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を図る。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② フェニックス市からの姉妹都市提携45周年記念訪問団レセプション
※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

③ アデレード市からの姉妹都市提携40周年記念訪問団レセプション

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

④ アデレード市姉妹都市提携40周年記念訪問団派遣

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成する。

① 青少年派遣 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	0	中止
アデレード市	高校生	0	中止
クリチーバ市	高校生	0	中止
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	0	中止
昌原市	中学生	0	中止
太原市	中・高校生	0	中止
コンウイ城	中・高校生	0	中止

② 青少年受入 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	0	中止
アデレード市	高校生	0	中止
クリチーバ市	高校生	0	中止
昌原市	中学生	0	中止
太原市	中・高校生	0	中止
コンウイ城	中・高校生	0	中止

③ 派遣生 OB への活動支援(随時)

④ 子ども国際交流スクール

次代の姫路の国際化を担う青少年を育成することを目的として実施。海外姉妹都市、多文化共生や姫路の地場産業などについて学習した。海外姉妹都市とのオンライン交流も実施した。

【開催期間】 6月25日(土)～11月6日(日) 全10回 【参加者】 小学6年生 25人

⑤ 海外姉妹都市等とのオンライン交流

コロナ禍で実施できなかった青少年派遣・受入事業に代わる交流事業として、姫路市の青少年と海外姉妹都市の人たちがインターネットを通して交流する事業を実施した。

姉妹都市	開催日	参加者	
		姫路市	姉妹都市
シャルルロア市	7月24日(日)	中学生8人	ホストファミリー7組
太原市	7月27日(水)	中学生8人 高校生8人	太原外国語学校生徒
アデレード市	8月5日(金) 8月10日(水)	中学生4人 高校生9人	ボタニックハイスクール生徒
クリチーバ市	10月2日(日)	中学生7人 高校生7人	大学生 3人
シャンティイ市	11月23日(水・祝)	中学生6人	姉妹都市委員、高校生など
昌原市	1月6日(金) 1月8日(日) 1月9日(月・祝)	中学生6人 高校生2人	中学生 6人、高校生 4人

なお、姉妹都市以外とも、以下の通り交流事業を実施した。

相手都市	開催日	参加者	
		姫路市	相手都市
オーストラリア パース市	8月3日(水) 8月17日(水)	高校生12人	カーティン大学 日本語サークルの学生

⑥ 海外姉妹都市交流・子ども国際交流スクール合同写真展

大型商業施設等で写真展を開催し、市民に青少年交流事業の周知を図った。

- ・ピオレ姫路 4月 4日(月)～ 4月14日(木)
- ・テラッソ姫路 4月26日(火)～ 5月 9日(月)
- 10月 4日(火)～10月17日(月)
- ・ゆめタウン姫路 5月13日(金)～ 5月26日(木)
- ・イーグレひめじ 10月25日(火)～11月 7日(月)
- ・イオンタウン姫路 11月 8日(火)～11月21日(月)

⑦ 「わたしの国際交流」展

国際交流の素晴らしさや大切さを市民に広く伝えるため、国際交流をテーマにした写真と川柳を募集し、入選作品等を展示した。

【応募数】写真：19点(13人) 川柳：14点(10人)

【作品展示】イーグレひめじ 2月6日(月)～2月21日(火)

姫路市役所 3月1日(水)～3月17日(金)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

種類	発行回数・部数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA! ひめじ」発行	年4回 各 約2,800部	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) ※日本語は、通常版とやさしい日本語版で発行。 ※また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を開催した。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]

FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供した。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]

機関紙により事業実施状況を報告した。

種類	発行回数・部数	内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回 1,500部	事業紹介。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回 各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	青少年派遣・受入事業の中止により発行せず。	

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付した。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]

イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供した。

(6) 「広報ひめじ」記事のやさしい日本語化 [公5]

日本語に不慣れな外国人に速やかな情報提供を行うため、姫路市の広報誌「広報ひめじ」の中から、外国人に必要な記事を選んでやさしい日本語に翻訳した。「広報ひめじ」に掲載したQRコードから財団ウェブサイトへ移動し、やさしい日本語で記事を読むことができる。

(7) やさしい日本語講座 [公5]

やさしい日本語の認知度を高めるとともに、「VIVA！ひめじ」のやさしい日本語版発行に携わるボランティアを養成することを目的として実施した。

【開催日】 1月28日(土)・29日(日) 【参加者】23人(内、ボランティアに登録 3人)

4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級6クラス、中級1クラス各10名。年3期(5～7月／9～11月／12～3月)各10回開催。

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ・日本語ひろばキッズ+

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。また、在住外国人児童・生徒の居場所づくりを行った。

(2) 市民のための外国語講座

市民に、外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図った。姫路獨協大学との共催事業。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催した。

【開催日】 3月18日(土)・19日(日)・25日(土) 【修了者】46人

また、日本語ひろばキッズやキッズ+で活動するボランティアを養成するための講座も開催した。

【開催日】 4月29日(金・祝)・30日(土) 【参加者】 35人

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。年2回実施。

・情報誌づくり講座 ～編集編～ 10月 8日(土) 【参加者】13人

・情報誌づくり講座 ～キャッチコピー編～ 12月10日(土) 【参加者】18人

(5) 外国人相談センター

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援した。相談員が話すことができない言語でも、翻訳機を使って相談に応じた。

開催場所	曜日	時間	相談員が話せる言語
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語、フランス語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～16時	中国語、ポルトガル語、 スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

※ 休日及び年末年始を除く

(6) 地域交流事業

地域で暮らす外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりを促進するための事業を実施した。年2回実施。

- ・グレイグ親子とオージークリスマス 12月10日(土) 【参加者】23人
- ・グアテマラカフェへようこそ 3月5日(日) 【参加者】15人

(7) 国際交流フェスティバル

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアボリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図る。

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(8) 日本語スピーチコンテスト

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供する。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小し「日本語ひろば交流会」として実施した。

【開催日】2月19日(日) 【参加者】19人

(9) ウクライナ避難民支援一時金支給業務

姫路市からの委託を受け、ロシアのウクライナ侵攻によりウクライナから姫路市へ一時避難したウクライナ国籍を有する人に、生活準備のための一時金を支給した。

【支給実績】1件(40万円)

(10) 国際理解映画上映会

市民に、映画を通じて国際問題について考える機会を提供した。

- ・「タレントタイム 優しい歌」 4月17日(日) 【参加者】100人
- ・「アッラーと私とスカーフと」 10月22日(土) 【参加者】79人

(11) フードドライブ

生活に困難を抱える在住外国人の支援を目的に、NPO法人フードバンクはりまと連携して、家庭等で余っている食品などを集めるフードドライブを実施した。外国人相談センター等へ食べることに困っている外国人からの相談があった際に、フードバンクはりまからの支援につながる足掛かりとなった。

【開催日】11月3日(木・祝) 【成果】食品約42kgと日用品

(12) 高校生のためのグローバルキャリア講座

海外留学や国際舞台での活躍に興味のある高校生を対象に、今後の進路や将来の目標を考える機会を提供する講座を開催した。

【開催日】10月8日(土)・9日(日) 【参加者】15人

(13) SDGs×多文化共生ワークショップ

SDGsの基本を学び、多文化共生についても考える講座を開催した。

【開催日】11月12日(土) 【参加者】18人

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時募集し、登録を受け付けた。
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業を行った。 ① ボランティアによる日本語学習者支援 日本語学習者を対象とした事業やイベントの実施 ② ボランティアによる在住外国人向け情報誌の制作(企画・取材・翻訳・編集)

Ⅲ 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を図った。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施した。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

1 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者 28,224人 使用率 48%

2 パルナソスホールの管理運営

年間利用者 41,187人 使用率 69%

令和4年度 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。